

場所	2階 201	2階 202	2階 203	2階 204	10階 1001
座長	杉浦 淳	世良 清	山名 美加	北田 透	鈴木 公明
	知財経営	知財人材育成、知財教育	知財に関する国際問題	その他(知的財産の新領域)	学生発表
10:00	2A1 小沼 良平 日本弁理士会 技術標準委員会 標準化が中小企業に与える事業的効果に関する事例報告	2B1(インテンシブ) 中山 裕木子 株式会社ユー・イングリッシュ 英文特許明細書の品質向上のための日本語と英語のチェックポイント	2C1 狩野 幹人 三重大学 地域イノベーション推進機構 中小規模総合大学におけるリスクマネジメントを考慮したABS対応—三重大学における事例— 三橋一郎、富田昌弘、橋本篤、鈴木睦昭	2D1 川原 英昭 川原特許事務所 WIPOの世界の特許情報のデータベースPATENTSCOPE使用時の留意点	2E1 佐郷 夏海 大阪工業大学大学院知的財産研究科 地域ブランディングと地域団体商標—地域団体商標制度の活用に向けて— 大塚理彦
10:20	2A2 江藤 学 一橋大学イノベーション研究センター 特許の敷解消のための非標準必須特許RAND宣言の可能性—ナノセルロースフォーラム知財タスクチームでの検討経緯—		2C2 香坂 玲 東北大学 / 総合地球環境学研究所 遺伝資源をめぐる利益配分に関する国際的な研究動向と論文ネットワークの考察: 遺伝資源、遺伝子情報の持続可能な活用に向けて 松岡光、内山愉太	2D2 三沢 岳志 次世代パテントプラットフォーム研究会 知的財産権出願の件数予測についての考察 大和田昭彦、矢永干将、小池秀雄	2E2 小山内 達哉 大阪工業大学 知財専門職大学院 若年層に対する知的財産教育に関する研究 村川一雄
10:40	2A3 石橋 史朗 会津大学 大学から見た人工知能関連の特許出願動向についての考察	2B3 成島 和男 宇部工業高等専門学校 高等専門学校の一研究室における知財教育の実践	2C3 靄岡 聡史 慶應義塾大学 知財を巡る近代日本の紛争処理対応と国際条約加盟の決定—明治27(1894)年の日英、日米通商航海条約を一例に—	2D3 吉岡(小林) 徹 東京大学 NISTEP意匠データベースの改良と引用情報を利用した分析の可能性 元橋一之、池内健太、党建偉	2E3 高田 惇平 大阪工業大学大学院知的財産研究科 知的財産権によるトレードドレスの保護に関する研究 村川一雄
11:00	2A4 大池 聞平 日本弁理士会知的財産経営センター 中小・中堅企業に対する「知財活動の評価」の実施と検証	2B4 谷口 牧子 旭川工業高等専門学校 国際取引から学ぶ国際理解促進のための知財教育	2C4 古谷 真帆 東京大学政策ビジョン研究センター 一帯一路構想と知的財産権制度	2D4 乾 利之 IPNJ国際特許事務所 自動車産業の進化により生じる企業の業態変化に関する考察 田中義敏	2E4 工藤 大輝 大阪工業大学大学院 企業の職務発明制度に係わる知的財産問題 村川一雄
休憩					
座長	妹尾 堅一郎	谷口 牧子	古谷 真帆	川原 英昭	八木 孝雄
11:30	2A5 佐野 哲 静岡県経済産業部商工業局 経営革新計画承認企業における知財活動の付加価値額に与える影響	2B5 世良 清 三重県立津商業高等学校 知財教育の新領域を考える	2C5 張 榕哲 大阪工業大学大学院知的財産研究科 日台の特許審査基準に関する比較研究 村川一雄	2D5 松井 悠子 金沢工業大学 「食べ方のイノベーション」を実現する食品メーカーの研究開発のあり方 高橋真木子	2E5 戸川 拓馬 大阪工業大学大学院 知的財産研究科 宇宙技術に関する特許権侵害に対する管轄権行使の課題 松井章浩
11:50	2A6 森川 輝生 特定非営利活動法人産学連携推進機構 三浦工業「小型貫流ボイラ事業」のビジネスモデルと知財マネジメント 妹尾堅一郎、伊澤久美、瀬川丈史、大沼妙子	2B6 伊藤 慎一 秋田大学 特許法学習カードゲームIPバトルズの開発と実践 柴田傑、井門正美	2C6 鍾 亦琳 萬國専利商標事務所 データから見る台湾知的財産裁判所における意匠侵害訴訟現状	2D6(インテンシブ) 安彦 元 ミノル国際特許事務所 人工知能関連技術の最新の特許出願動向—新たに誕生する20の新産業、116の新規ビジネスに着目した特許分析—	2E6 北岡 光 大阪工業大学 知的財産専門職大学院 有償開放特許を用いたビジネス化に関する研究—課題及び課題解決に向けた検討— 村川一雄
12:10	2A7 伊澤 久美 特定非営利活動法人産学連携推進機構 航空機預入手荷物タグ「ElectronicTag」をめぐるビジネスモデルと知財マネジメント 妹尾堅一郎、宮本聡治	2B7 小出 篤史 theta研究室 マイコンボードを利用した知財教育に関する一考察	2C7 莊 育政 萬國専利商標事務所 日本特許制度から見た台湾と中国特許制度の特徴		2E7 深山 継介 早稲田大学創造理工学研究科 経営デザイン専攻 地方自治体・公的研究機関の技術移転マネジメントの改善に関する研究—沖縄県久米島の海洋深層水活用を事例として— 森康晃
12:30	2A8 行本 顕 特定非営利活動法人産学連携推進機構 「ポーカロイド」のビジネスモデルと知財マネジメント 妹尾堅一郎、伊澤久美、杉山沙希、白石拓也	2B8 吉田 拓也 四天王寺学園高等学校・中学校 知的財産に関する中学校美術科・技術科における横断的授業の実践について 岸本志津	2C8 胡 勇 筑波大学大学院修了 知財強国政策下の中国における知財の行方 星野豊	2D8 北田 透 横浜市建築局建築指導部 業種別にみた生産量に占める特許及び研究従事者への分配率について	
休憩					

12月2日(日) 一般発表スケジュール

日本知財学会 第16回年次学術研究発表会

場所	2階 201	2階 202	2階 203	2階 204	10階 1001
座長	伊澤 久美	隅藏 康一	江藤 学	茶園 成樹	
	知財経営	知財制度論	先端技術・国際標準	著作権、コンテンツマネジメント	
13:10				2D9 北岡 弘章 日本弁理士会著作権委員会 インラインリンクと著作権・著作 者人格権侵害～知財高裁平成 30年4月25日判決を題材として ～	
13:30	2A10 白石 拓也 特定非営利活動法人産学連携 推進機構 松谷化学工業「難消化性デキス トリン事業」のビジネスモデルと 知財マネジメント 妹尾堅一郎、伊澤久美、丸島和 也	2B10 新垣 厚 千葉商科大学経済研究所 特許技術の実用化に向けた優 遇税制について～研究開発税 制とパテントボックス税制の比 較～	2C10 和泉 章 一橋大学イノベーション研究セ ンター IEC(国際電気標準会議)の国 際標準化活動における特許声 明書の提出動向と各国企業等 の対応についての考察	2D10 今村 哲也 明治大学情報コミュニケーション 学部 著作権法35条を巡る法解釈論 上の諸論点について～平成30 年著作権法改正後を見据えて ～	
13:50	2A11 小泉 太一 特定非営利活動法人産学連携 推進機構 島津製作所「液体クロマトグラフ 事業」のビジネスモデルと知財 マネジメント 妹尾堅一郎、伊澤久美、開本 亮、野口貴史	2B11 滝田 清暉 IP国際技術特許事務所 当初明細書等から再デザインし た請求項と新規事項について	2C11(インテンシブ) 上池 睦 次世代パテントプラットフォーム 研究会 FRAND訴訟からみる標準必須 特許の合理的な実施料算定方 法に関する研究 小林和人、平塚三好	2D11 松本 翼 日本大学大学院 法学研究科 著作物の二次利用と権利保護 のバランスについての考察	
14:10	2A12 宮本 聡治 特定非営利活動法人産学連携 推進機構 「QRコード」事業のビジネスモデ ルと知財マネジメント 妹尾堅一郎、伊澤久美、杉山沙 希、森川輝生、行本顕	2B12 川上 正隆 青山学院大学 無効事由を内在した特許査定 に対する国家賠償請求につい ての理論的枠組み		2D12 山本 幸一 知的財産教育協会 知的財産 管理技能士会研究会 キャラクタービジネスにおけるセ グメントの可視化およびクラス 分類によるビジネス戦略の申し いアプローチについて 井上達仁	
休憩					
座長	林 茂樹	石埜 正穂	吉岡(小林)徹	茶園 成樹	
14:40		2B13 竹田 由美子 青山学院大学 データドリブンソサエティにお ける改正不正競争防止法の示す 「限定提供データ」の適正な取り 扱いについて	2C13 関 孝則 東京理科大学大学院経営学研 究科 デジタルトランスフォーメーシ ョンの進展に伴うビジネスシス テムと収益モデルの力点変化 沙魚川久史、佐藤智文、竹内均	2D13 星野 豊 筑波大学 論文の盗用に関する関係者及 び関係組織の責任	
15:00	2A14 平井 祐理 東京大学 日本における従業員の学び直 しに関する研究－戦略タスク フォースリーダー養成プログラ ムの事例－ 渡部俊也	2B14 隅藏 康一 政策研究大学院大学 日本における医療知財制度の 再考	2C14 加藤 大暁 知的財産研究会IPLounge G2Cマーケット発展に伴う技術 的イネーブラーとビジネスシス テムの変容 沙魚川久史、関孝則、佐藤智文	2D14 城所 岩生 国際大学グローバル・コミュニ ケーション・センター JASRACvs音楽教室訴訟の行 方	
15:20	2A15 菅野 政孝 日本大学法学部経営法学科 ICT分野における特許出願と産 業状況の関連について	2B15 黄 福実 青山学院大学 権利付与制度の不安定性につ いて	2C15 沙魚川 久史 東京理科大学 総合研究院 G2Cマーケット発展を促進する 顧客価値形成の変化とサービ スビジネスの変容 加藤大暁、関孝則、佐藤智文		
15:40	2A16 荒牧 裕一 大和大学 政治経済学部 「釣りゲーム事件」判決を契機と したゲームソフト会社の知財戦 略の転換の検証 小田哲明	2B16 草間 裕子 知的財産権研究所、白鷗大学 国際的なネットワーク発明侵害 に関する理論的基盤の再考	2C16 村川 一雄 大阪工業大学大学院 知的財 産研究科 標準規格と必須特許による公 正な競争の促進と標準化機関 の役割		
休憩					

12月2日(日) 一般発表スケジュール

日本知財学会 第16回年次学術研究発表会

場所	2階 201	2階 202	2階 203	2階 204	10階 1001
座長	平井 祐理	川上 正隆	箱田 聖二	今村 哲也	
	知財経営	知財制度論	先端技術・国際標準	著作権、コンテンツマネジメント	
16:10	<p>2A17 妹尾 堅一郎 特定非営利活動法人産学連携推進機構</p> <p>プラットフォーム論から見た「N×1×N」形成～パイプラインとの対比によるオープン&クローズ戦略の一考察～</p>	<p>2B17 石埜 正穂 日本弁理士会バイオライフサイエンス委員会</p> <p>パテントリンケージの運用実態について</p> <p>金子修平、志村将、武居良太郎、丸山真二郎</p>	<p>2C17 内山 愉太 東北大学</p> <p>バイオメテイクスに関する国際的な特許出願動向に対する企業関係者の認識と技術開発への関わりに関する考察</p> <p>藤平祥孝、香坂玲</p>	<p>2D17 加藤 直規 知的財産研究家</p> <p>美術の著作物の営利を目的としない展示ー著作権法改正アプローチ</p>	
16:30	<p>2A18 杉山 沙希 特定非営利活動法人産学連携推進機構</p> <p>「スウォッチ」におけるビジネスモデルと知財マネジメント</p> <p>妹尾堅一郎、伊澤久美、宮本聡治、本奈菜子</p>	<p>2B18 高原 千鶴子 日本弁理士会農林水産知財対応委員会</p> <p>種苗法と商標法の関係についての調査・検討及び提言</p>	<p>2C18 越智 豊 日本弁理士会バイオ・ライフサイエンス委員会</p> <p>日本のバイオ・ライフサイエンス産業の国際競争力の特許面からの調査・研究</p> <p>春名真徳、南野研人、小原淳史、腰本裕之、萩森学、中村智広</p>	<p>2D18 村上 画里 大阪大学知的基盤総合センター</p> <p>韓国におけるテレビフォーマット保護戦略</p> <p>申賢哲、富田信雄、西川達也</p>	
16:50	<p>2A19 野口 貴史 特定非営利活動法人産学連携推進機構</p> <p>BtoB製品における「本体・消耗品」のビジネスモデルと知財マネジメント</p> <p>妹尾堅一郎、伊澤久美、開本亮、小泉太一</p>	<p>2B19 藤川 順 日本弁理士会不正競争防止法委員会</p> <p>不正競争防止法による商品形態模倣防止と諸外国での商品形態模倣防止のための法制度との比較法的考察</p>		<p>2D19 上條 由紀子 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科</p> <p>米国大学所蔵の対日文化政策に関する占領期資料のデジタル化に関する研究</p> <p>小泉真理子、寺田遊</p>	